

【床面積の精査】

必要床面積

各機能の必要性の再検討
各機能の必要床面積の精査

基本計画検討分科会で精査

新庁舎の各機能のあり方と関連性が深く、これまで基本計画検討分科会において審議されていることから、必要床面積は、基本計画検討分科会で精査する

整備内容の妥当性

災害リスクを踏まえ、
新庁舎整備の内容を検証

床面積の精査結果を
工事費等へ反映

工事費の妥当性

庁舎整備の他都市事例等を踏まえ、
工事費の妥当性を検証

新たな会議体を設置し検証

新庁舎整備事業検証委員会

防災や建設マネジメント、財政に関する専門家等による新たな会議体を設置し、検証を行う

※会議は原則公開

工期の妥当性

工事規模、敷地条件を踏まえ、
工期の妥当性を検証

財政への影響

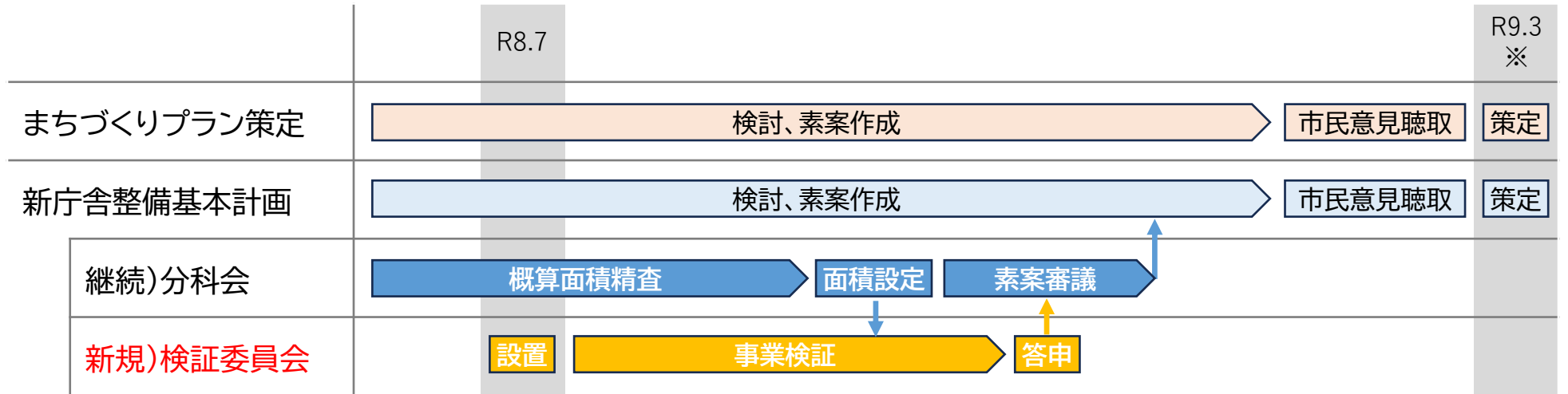
新庁舎整備事業が市財政に
及ぼす影響について検証

【整備事業の検証】

【 委員構成(案) 】

	委員(5名程度)の想定	期待する意見等
1	防災関係の専門家	防災拠点として現時点で整備を進めることの妥当性・必要性に関する専門的な意見
2	コスト・事業手法関係の専門家	建設市場の動向や公共事業の実務を踏まえた、事業費水準及び工期の妥当性に関する意見
3	地方財政の専門家	新庁舎整備事業が中長期的に市財政に及ぼす影響に関する意見
4	国土交通省の営繕関係者	公共建築の整備動向や実務経験を踏まえた意見
5	県建設関係団体	県内の建設業界の実情を踏まえた意見

【 検証スケジュール(案) 】



※現時点での想定であり、検証の進捗により変更の可能性有

【 6月補正予算(案) 】

新庁舎整備推進経費 補正額4,700千円

- 内訳 ①新庁舎整備事業検証委員会開催経費(委員5名・4回開催分の報酬・旅費等) 1,900千円
 - ②新庁舎整備基本計画検討分科会開催経費(委員11名・5回追加開催分※の報酬・旅費等) 2,800千円
- ※当初予算は委員10名・1回開催分の経費を計上、新たに執務環境・DXの専門家1名を委員として追加予定